

授業科目名	家庭支援論		担当教員名	入江 実
必修/選択	必修(保育士資格)		開講学年・学期	3年 後期(年間開講数 1講座)
科目区分			単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等			授業方法/担当形態	講義 / 単独
			特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の到達目標	家庭の機能が外部化され、その提供がサービスとして商品化され経済活動の一部に組み入れられていく現代社会において、子どもが人間になれる場であり、お年寄りが人間として死ぬる場である家庭、そしてそれを支えた地域社会の役割が変化し危機的状況であることを理解させ、家庭・家族の支援についての意義を考察していく。			
授業の概要	家庭の機能が外部化され、その提供がサービスとして商品化され経済活動の一部に組み入れられていく現代社会において、子どもが人間になれる場であり、お年寄りが人間として死ぬる場である家庭、そしてそれを支えた地域社会の役割が変化し危機的状況であることを理解させ、家庭・家族の支援についての意義を考察していく。			
テキスト	「新・社会福祉とは何か第3版」一番ヶ瀬康子編著(ミネルヴァ書房)			
参考書・参考資料等	特に指定せず			
成績評価の方法	○参加意欲：20% ○レポート：25% ○定期試験：55%			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	講義の進め方			
第2回	1.家庭支援の意義と役割 (1)家庭の意義と機能			
第3回	1.家庭支援の意義と役割 (2)課程支援の必要性			
第4回	1.家庭支援の意義と役割 (3)保育士等が行う家庭支援の原理			
第5回	2.家庭生活を取り巻く社会状況 (1)現代の家族における人間関係			
第6回	2.家庭環境を取り巻く社会的状況 (2)地域社会の変容と家庭支援			
第7回	2.家庭環境を取り巻く社会的状況 (3)男女共同参画社会とワークライフバランス			
第8回	3.子育て家庭の支援体制 (1)子育て家庭の福祉を図るための社会資源			
第9回	3.子育て家庭の支援体制 (2)子育て支援施策、次世代育成支援援助の推進			
第10回	4.多様な支援の展開と関係機関との連携 (1)子育てサービスの概要			
第11回	4.多様な支援の展開と関係機関との連携 (2)保育所入所児童の家庭への支援			
第12回	4.多様な支援の展開と関係機関との連携 (3)地域の子育て家庭への配慮			
第13回	4.多様な支援の展開と関係機関との連携 (4)要保護児童及びその家庭に対する支援			
第14回	4.多様な支援の展開と関係機関との連携 (5)子育て支援における関係機関との連携			
第15回	4.多様な支援の展開と関係機関との連携 (6)子育て支援サービスの課題			
定期試験	筆記試験			